

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市富沢児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター
3	指定期間	平成27年4月1日から平成32年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 32,396人 (前年度比 126.3%) 平成28年度 25,646人 平成27年度 24,928人 平成26年度 24,648人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 39,429千円 (26,940千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、地域運営懇談会・富沢小学校支援地域運営会議、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域の特性を生かした各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。	S
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	S
V 施設固有の基準	児童クラブ児童を対象に毎月自然体験活動を実施するなど館外活動の場を提供しているほか、年10回の児童クラブ通信の発行や、保護者交流・親子行事の場を設け、保護者同士のつながりや運営への理解を深め、連携した育成支援に取り組んでいる。子育て支援クラブや地域団体の活動を支援し、連携して行事を行うほか、学校行事への協力や放課後子ども教室との定期的な情報共有を行うなど、地域との連携に努めている。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター）による自己評価》
<p>2017年度も引き続き「つながる・つなげる・子育て支援」ということをスローガンに運営してきた。開館8年目、開館当初1年生だった子どもたちも中学生になった。中学生の利用延人数が1,222名となり、昨年より大幅に増加した。職員が中高生への関わりを大切にするとともに、居場所づくりの環境を整えた結果であると感じる。おまつりやボランティアの参加も延べ40名以上となり、中高生行事では2校の生徒12名が参加し、卓球大会やお好み焼きづくりなど大変盛り上がった。中学校からは、「親や先生と違う立場の人が支えてくれることが思春期には大切なことで、児童館がその役割を担ってくれている。」との話があった。中学校との情報交換も多くなり、つながりが深まった1年となった。</p> <p>富沢の地域開発が本格的になり、500棟以上もの家が立ち並び始めた。児童クラブの増加・乳幼児親子への支援の形も変わり始めている。児童クラブは、富沢小学校でのサテライト運営が始まった。小学校と毎日連携をとることにより、職員が小学校の先生方と顔の見える関係を構築できた。職員が子どもたちの支援への意識を高く持ち、手作り遊具作成等、遊びの充実に努めた。</p> <p>乳幼児親子の利用も増える中、育児ノイローゼに向かいあっている母親や子育てに思い悩む保護者の来館もあり、気軽に話せる育児相談会や保育所・市民センター・保健師の方々に来ていただきながら情報交換の場を企画した。「赤ちゃんサロン」は、毎回参加人数が増加したことから、情報交換の場は、母親にとっては大切な時間であると感じている。</p> <p>今後も地域の子どもたちが様々な世代とつながり、子育て中の大人も輝きあえるような、地域に根ざした児童館運営を行いたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>転入等が多い地域特性を踏まえ、新しい利用者が来館しやすい取組みを行っている。乳幼児親子対象事業では、登録制や自由参加など参加の仕方や行事の見直しを図りながら地域ニーズの反映に努めている。ニーズの高い2歳児行事の充実を図り、発達に応じた年齢別や異年齢行事など、幅広いプログラムを定例行事で提供し、利用者にとって選択・利用しやすい企画実施に努めており評価できる。そのほか保護者交流サロンや育児相談等を通して子育て家庭支援に取り組んでいる。</p> <p>小学生対象定例行事として、毎月工作、調理活動、伝承、集団遊び等多様なプログラムを提供するなど、地域の健全育成環境の向上に努めた運営が行われており評価できる。高学年から中高生を対象にした子どもスタッフの活動では、地域交流行事などを実施し主体的な取組みを支援している。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課） 子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室